

医療機関（病院）は地域の生命線

市議会の議員勉強会で、城西大学経営学部の伊関友伸教授が「上越市の医療を

考える」と題して講演してくださいました。

講演の中で伊関教授は、「医療機関がなくなれば、その地域の住民は生活できなくなる。医療機



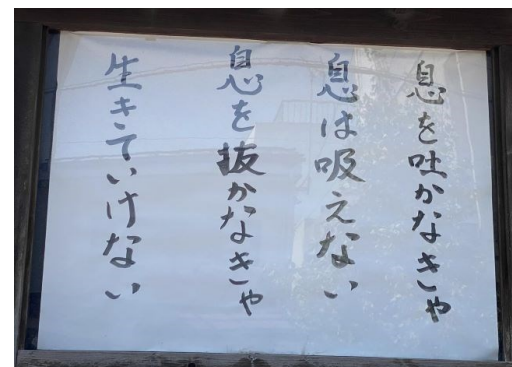
【ミヤマウスズラ】ラン科の常緑の多年草。漢字で「深山鶉」と書きます。葉の形は卵型で、濃緑色の葉のなかに白い網目状の模様が入っています。この模様が名前の由来のようです。花期は8月から9月、茎の高さは最大で25センチほどになります。花言葉は「気品」「洗練」「美人」「謙虚さ」など。写真は10日午前、吉川区町田にて前方後円墳の現地説明会に参加した際、撮影しました。

地域の産業としての
病院や福祉施設
①高齢化が進む地域において
病院や福祉施設は数少ない
将来を見込める産業である
②産業振興の観点で病院や福
祉施設を考慮すべき
城西大 伊関友伸教授



関（病院）は地域の生命線であり、知恵とお金を使って存続させていくことが重要だ」「高齢化が進む地方において、病院や福祉施設は数少ない将来を見込める産業である」「中小病院は地域における医療の『砦』となり、立地する地域の医療を守る」「上越地域センター病院建替えでは、個室化、感染症外来設置など新型コロナウイルスを踏まえた対応をすべき。ローコストを意識しつつ、医療提供の高度化や感染症に対応した病院に」などと訴えました。

講演では上越地域の各病院の救急患者受け入れ状況などのデータを使って上越地域の医療の実態や今後の方向を明らかにされました。有意義な講演でした。



直江津は聴信寺の掲示板。



三和区で巣立ったコウノトリの幼鳥の性別はメスでした。その幼鳥は21日、青野池にいました。親鳥はそばにいませんでした。



初めての出展、70数点も

柿崎区直海浜の光徳寺で9日から16日まで、恒例の「みんなの作品展」が開催されました。

この作品展は子どもから高齢者まで誰でも自由に出展できるのが特徴です。今回も写真、絵、工芸作品、彫刻など多数の作品が並びました。今回は初めての作品だけでも70数点の出展があったとのこと、まさに地域文化の拠点ですね。

初日の午後からは地元の吉崎強さんなどによる尺八、箏などのコンサートも行われ、私も楽しませてもらいました。

9月定例議会審議日程（会議開始はいずれも午前10時）

月 日	会議名	会議室名	備考
9月2日（火）	本会議	議場	議案提案、質疑
9月3日（水）	本会議	議場	
9月4日（木）	文教経済委員会	第1委員会室	付託案件審査
9月5日（金）	文教経済委員会	第1委員会室	付託案件審査
9月8日（月）	厚生委員会	第1委員会室	付託案件審査
9月9日（火）	厚生委員会	第1委員会室	付託案件審査
9月10日（水）	農政建設委員会	第1委員会室	付託案件審査
9月11日（木）	農政建設委員会	第1委員会室	付託案件審査
9月12日（金）	総務委員会	第1委員会室	橋爪担当
9月16日（火）	総務委員会	第1委員会室	橋爪担当
9月18日（木）	一般質問	議場	
9月19日（金）	一般質問	議場	
9月22日（月）	一般質問	議場	
9月24日（水）	一般質問	議場	
9月26日（金）	本会議	議場	議案等採決

はしづめ法一の 活動レポート

No.2217 2025.8.31

発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず

Tel 025-548-3627

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznysg_0808@yahoo.co.jp

URL <https://www.hose1.jp/>



ブログ
「ホーセの見
てある記」は
← こちら

橋爪法一

検索

春よ来い

第八六四回

突然の訪問

気になることをそのままにしておくことができない。これは私の性分です。最近あった事例をひとつだけ紹介しましょう。

お盆を前に、わが家の墓に花をあげようと尾神（蛭場）に出かけた際、「私も尾神の墓参りに行きたい」と言っていた高崎市在住の従姉（いとこ）のところへ電話しました。高齢だから、せめてスマホを使って墓参りをしてもらおうと思ったのです。

ところが、いつもなら、元気に「ありがとう」と言っていて喜ぶはずの従姉の声がじつに弱弱しく聞こえました。これまで、従姉のこのような声は聞いたことがありません。どうしたのかと心配になりました。後日、電話すると、従姉は「風邪をもらってしまい、元気なかった」と言いました。これまでなら、そうだったのかと納得して終わったのですが、従姉は九〇歳が見えるところまで来ています、何か体に異変が起きているのではないかと気になりました。

お盆が終わって数日後、近くのブドウ園に行った際、従姉のことを思い出し、「そうだ、ブドウを持って行って様子をみてこよう」と思い立ちました。時間は正午前後でした。いま出かければ暗くならないうちに帰ってこられる、そう思って上越妙高駅に車を走らせました。

北陸新幹線に乗ると高崎までは一時間です。午後二時過ぎには高崎駅に到着しました。従姉の家まで徒歩で一五分ですが、この日、駅の外は猛暑でした。なるべく建物の日陰を見つながら歩きました。

従姉の家に着いたのは午後二時半頃です。「ごめんください」と言って声をかけると、奥の方で従姉の声がしました。玄関まで出てきた従姉は、私を見て、最初は、「いったい、誰だろう」と言った感じの顔をしていました。それもそのはずで、私は従姉を驚かせようと、事前に連絡することなく突然に訪問したのですから。

私の訪問に、従姉はしばらくは信じられない様子でした。でもお茶を飲み、コーヒーを飲み始めたころには、いつもの調子を取り戻し、「夢を見ているようだ」と言って昔話などを語りだしました。

まずはウイスキーの話です。居間のテーブルの上にはウイスキーの角瓶があり、私の前方の棚の上には、「余市」「響」などのウイスキーが数本ありました。従姉がうまいと言っていた「山間」という酒も並んでいました。相当酒に強い感じですが、自分や娘がお酒が好きになったのは「お父さんに仕込まれたから」と言っていて笑いました。

続いて初めて聞いた話。従姉の祖父母にあたる人の話です。マサおばあちゃんは髪結いの仕事をしていましたが、吉川区の山間部にある川谷の出身だ聞いてびっくりしました。そして平作おじいちゃんは、自転車屋さんだったというのです。従姉は砂利道でおいしいちゃんから習って自転車に乗れるようになったとか。知らなかったです。

亡くなった伯母はわが家の出身ですが、その伯母が安中高等学校時代に描いたという花の絵も話題になりました。昭和天皇が回ってくるときに、描いたのだそうです。カーテンの影、緑色の葉の濃淡などあまりにも上手なので驚きました。

最後はコメの話です。今年はなかなかコメが手に入らない時期がありました。その話のなかで従姉は、戦後の食糧難だったころ、自転車に乗って農村部へ行き、着物とコメや野菜を交換して飢えをしのいだことを教えてくれました。大人だったら、すぐ警察に見つかると、子どもだったらから見つからなかったとのことでした。

従姉の家には一時間ほどいました。久しぶりに会った従姉は、電話での弱い声やウソのように元気でした。帰り際、私が立ち上がると、また、「夢を見ているようだ」と言っていて私を見てくれました。

暑かったけど楽しい運動会でした

23日、吉川区の川谷最寄り運動会に参加してきました。参加者は30人ほどでした。

猛暑でしたので、スタートは午後4時から。ラジオ体操をやったのち、ビン釣り競争、パン食い競争など3種目を体育館内で行いました。私は全種目に参加しました。苦手のビン釣り、何とかなりました。イラストはパン食い競争。

懇親会では、農業のことやコウノトリのことなどでいろいろな意見を寄せてもらいました。楽しい運動会でした。



ニュースフラッシュ

上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	8月20日(水)	8月27日(水)
上越消防署	0.053	0.050
上越南消防署	0.047	0.047
新井消防署	0.040	0.057
頸北消防署	0.050	0.057
頸南消防署	0.067	0.060
東頸消防署	0.040	0.050
名立分遣所	0.060	0.057
高士分遣所	0.053	0.053

下黒川地区夏まつり、花火にうっとり

川谷の運動会のあと、柿崎区下黒

川地区の夏祭りに行ってきました。会場は下黒川小学校グラウンドです。

私が着いた時は盆踊りの最中でした。その後、コミュニティバンド、ピアスのみなさんによる演奏、花火大会と続きました。ピアスの演奏では『コウノトリさん、ありがとね』も聴くことができました。観客席からは大きな拍手が送られました。感謝です。イラストは花火。



春よ来い

第八六四回

突然の訪問

気になることをそのままにしておくことができない。これは私の性分です。最近あった事例をひとつだけ紹介しましょう。

お盆を前に、わが家の墓に花をあげようと尾神（蛭場）に出かけた際、「私も尾神の墓参りに行きたい」と言っていた高崎市在住の従姉（いとこ）のところへ電話しました。高齢だから、せめてスマホを使って墓参りをしてもらおうと思ったのです。

ところが、いつもなら、元気に「ありがとう」と言ってくれる従姉の声がじつに弱弱しく聞こえました。これまで、従姉のこのような声は聞いたことがありません。どうしたのかと心配になりました。後日、電話すると、従姉は「風邪をもらってしまい、元気がなかった」と言いました。これまでなら、そうだったのかと納得して終わったのですが、従姉は九〇歳が見えるところまで来ています、何か体に異変が起きているのではないかと気になりました。

お盆が終わって数日後、近くのブドウ園に行った際、従姉のことを思い出し、「そうだ、ブドウを持って行って様子をみてみよう」と思い立ちました。時間は正午前後でした。いま出かければ暗くならないうちに帰ってこられる、そう思って上越妙高駅に車を走らせました。

北陸新幹線に乗ると高崎までは一時間です。午後二時過ぎには高崎駅に到着しました。従姉の家まで徒歩で一分ですが、この日、駅の外は猛暑でした。なるべく建物の日陰を見つながら歩きました。

従姉の家に着いたのは午後二時半頃です。「ごめんください」と言っただけで声をかけると、奥の方で従姉の声がしました。玄関まで出てきた従姉は、私を見て、最初は、「いったい、誰だろう」と言っただけの顔をしていますが、それもそのはずで、私は従姉を驚かせようと、事前に連絡することなく突然に訪問したのですから。

私の訪問に、従姉はしばらくは信じられない様子でした。でもお茶を飲み、コーヒーを飲み始めたころには、いつもの調子を取り戻し、「夢を見ていたようだ」と言っただけで話を語りだしました。

まずはウイスキーの話です。居間のテーブルの上にはウイスキーの角瓶があり、私の前方の棚の上には、「余市」「響」などのウイスキーが数本ありました。従姉がうまいと言っていた「山間」という酒も並んでいました。相当酒に強い感じですが、自分や娘がお酒が好きなようになったのは「お父さんに仕込まれたから」と言っただけで笑いました。

続いて初めて聞いた話。従姉の祖父母にあたる人の話です。マサおばあちゃんは髪結いの仕事をしていましたが、吉川区の山間部にある川谷の出身だ聞いてびっくりしました。そして平作おじいちゃんは、自転車屋さんだったというのです。従姉は砂利道でおいしいちゃんから習って自転車に乗れるようになったとか。知らなかったです。

亡くなった伯母はわが家の出身ですが、その伯母が安中高等学校時代に描いたという花の絵も話題になりました。昭和天皇が回ってくるときに、描いたのだそうです。カーテンの影、緑色の葉の濃淡などあまりにも上手なので驚きました。

最後はコメの話です。今年はなかなかコメが手に入らない時期がありました。その話のなかで従姉は、戦後の食糧難だったころ、自転車に乗って農村部へ行き、着物とコメや野菜を交換して飢えをしのいだことを教えてくれました。大人だったから、すぐ警察に見つかると、子どもだったから見つからなかったとのことでした。

従姉の家には一時間ほどいました。久しぶりに会った従姉は、電話での弱弱しい声やウソのように元気でした。帰り際、私が立ち上がると、また、「夢を見ていたようだ」と言っただけで私を見てくれました。

柿崎の2つの祭りを楽しみました

14日は黒川黒岩ふれあいまつりがあり、行ってきました。相変わらず、すごい人気ですね。夕食後だったので、食べ物は餃子だけにした。ステージで人気があった1つはビンゴゲームです。あちこちで歓声が上がっていました。

ステージでは柏崎の奈々さんの歌とYukoさんのフルート演奏（イラスト右上）もあり、初めて聴きました。のびのびとした美しい声とフルートの演奏、素敵でした。とくに竹内まりやの「いのちの歌」、心に響きました。花火も盛大でした。

23日は下黒川地区夏まつりでした。私が着いた時は盆踊りの最中



でした。その後、コミュニティバンド、ピアスのみなさんによる演奏、花火大会と続きました。

ピアスの演奏では私も作詞にかかわった『コウノトリさん、ありがとね』も聴くことができました。観客席からは大きな拍手が送られました。感謝です。



ニュースフラッシュ

上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016～0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	8月20日(水)	8月27日(水)
上越消防署	0.053	0.050
上越南消防署	0.047	0.047
新井消防署	0.040	0.057
頸北消防署	0.050	0.057
頸南消防署	0.067	0.060
東頸消防署	0.040	0.050
名立分遣所	0.060	0.057
高士分遣所	0.053	0.053